

第5次小田原市総合計画「おだわらTRYプラン」後期基本計画について

1 背景

本市では、平成23年度（2011年度）に、平成34年度（2022年度）を目標年次とした第5次小田原市総合計画「おだわらTRYプラン」を定めました。

基本構想では、本市の将来都市像として「市民の力で未来を拓く希望のまち」を掲げるとともに、平成28年度を目標年次とした前期基本計画をスタートさせ、6の先導的施策（未来への投資）を軸としながら、山積する課題解決にオール小田原で取り組み、着実に計画を推進してきました。

一方、計画スタート時に発生した東日本大震災という未曾有の大災害は、我々が築き上げてきた社会システムや経済活動の基盤、地域の絆のあり方を見直すことにつながりました。また、人口減少と少子高齢化に伴う諸問題を克服し、活力に溢れ、持続可能なまちづくりを目指すため、国では「地方創生」の旗を掲げ、本市でも平成27年10月に小田原市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン及び総合戦略を策定し、人口減少・少子高齢化に伴う諸問題の解決に向けた取組を推進しています。

こうした状況を踏まえ、「おだわらTRYプラン」前期基本計画の計画期間が平成28年度で満了することから、社会経済環境の変化を踏まえた基本計画の見直しを行い、基本構想で描いた将来都市像「市民の力で未来を拓く希望のまち」の実現に向けた取組を加速させ、質を高めていくことを命題として、後期基本計画を策定することにしました。

2 経緯

後期基本計画の策定にあたり、平成27年度には全国で活躍する有識者と、市長・副市長・関係部局に、民間事業者を加えた有識者懇談会を開催し、基本的な考え方を整理してきました。また、これまでの取組を進化させていくために、市民との対話を重ねて世代や業種を超えたつながりを生み出し、そこから取組の一步を踏み出す「実験と学びに基づく共創のアプローチ」という手法を取り入れました。

この2つの取組で得られた学びや気づきを、基本的な考え方として後期基本計画に取り込むとともに、平成27年10月に策定した「小田原市まち・ひと・しごと創生総合戦略」、市長が掲げる市政運営の方針及び具体的な取組が盛り込まれた「第3ステージの取り組み指針」の内容を反映しています。

3 策定時期

平成29年3月末

4 計画期間

平成29年4月～平成35年3月